

令和3年度 第2回羽島市社会教育推進審議会（会議要旨）

日 時	令和3年8月5日(木) 13時30分～14時35分
場 所	羽島市教育センター2階 研修室
出席者	<p>(社会教育委員) 出席者8人</p> <p>松尾 東彦 委員(子ども会育成協議会代表)</p> <p>酒井 茂 委員(小中学校長会代表)</p> <p>白木 幸子 委員(女性団体代表)</p> <p>森 正智 委員(文化協会代表)</p> <p>鈴木登司雄 委員(コミュニティセンター館長会代表)</p> <p>小森 博昭 委員(スポーツ推進会議代表)</p> <p>高砂 房子 委員(学識経験者)</p> <p>池谷 幸樹 委員(学識経験者)</p> <p>(事務局)</p> <p>森 嘉長 教育長 加藤 光彦 教育委員会事務局長</p> <p>小川 隆正 教育総務課長</p> <p>山田 健司 教育委員会次長兼学校教育課長</p> <p>豊田 崇宏 北部学校給食センター所長</p> <p>今井田 明弘 生涯学習課長</p> <p>番 重宗 図書館長 箕浦 勝博 スポーツ推進課長</p> <p>木山 鉄兵 生涯学習課係長 阿部 悠助 同課主事</p>
内 容	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>令和3年度羽島市教育委員会点検・評価報告書(令和2年度実績) (案)について</p> <p style="padding-left: 40px;">*資料に基づき教育総務課長から説明</p> <p>(委 員) 文化財のデジタル保存・ホームページの公開について、文化財に関することは所有者の同意を得られなければ進められない旨を記載したほうが良い。</p> <p>さらに、県のアーカイブ事業が進んでいることから、今後は連携を考えられることも追記することで、今年度の事業の進め方についての評価になると思われる。</p> <p>また、歴史民俗資料館を活用した収蔵品の公開について、デジタル化の推進とあるが、デジタル化とは何を表しているのかが分かりづらいので、具体的な内容を記載してほしい。</p> <p>(事務局) 文化財のホームページの公開については、ご意見を取り入</p>

れさせていただく。

歴史民俗資料館のデジタル化については、収蔵品のデータベース化を進めて、いつでもどのような資料があるか検索をかけられるようにしているということである。

(委員) 福寿小学校について、学級増の影響及びコロナウイルス感染症対策で備品を購入されたことで、評価が去年のCからBになっており、今年度も予算の範囲内をお願いしたい。

(委員) 文化協会の今後の在り方について、理事会でも取り上げられたが、従来の事業を毎回行っているからと言って、今後も行いう必要があるかということを検討している。市からも補助金をいただいているため、精査しているところである。

(委員) 学校施設の修繕・改修等の計画的な実施について、竹鼻小の体育館に造られた障がい者用トイレについて、子ども達のために造ったのか、それとも災害避難時の時のためなのか教えてほしい。加えて使用状況についても確認したい。

(事務局) 全校トイレの便器の洋式化率については令和2年度までの3年間の工事で3割程度であったものが6割程度となっている。

多目的トイレについては体育館の倉庫などを廃止して造っている関係上、スペースが確保できる体育館には設置している。学校側で使用していただくのはもちろんのこと、災害時にも使用できるように設置している。

(委員) コミュニティ・スクールについてだが、羽島市の地域コーディネーターは何人ほどいらっしゃるのか。

(事務局) 現在教育委員会に3人在籍しており、各コミュニティ・スクール開催時に参加し、気が付いたことなどをご助言申し上げている。

(委員) コーディネーターというのはむしろ各学校に一人ずつ設置するものであり、教育委員会から出張しては各地域をコーディネートするという役割が薄くなると思われる。

(事務局) おっしゃる通りである。各コミュニティ・スクールには地域の実態があり、昨年度より推進委員を必ず1名以上設置するようにしている。現在16名の方に各コミュニティ・スクールにて推進の中心となっていただけるよう進めている。

昨年度はコロナ禍であったため、上手く進めていくことはできなかったが、今後の状況を踏まえて検討していく。

(委員) 「はしま市民教授」について活用状況を確認したい。

(事務局) コロナ禍ということもあり、昨年度の利用状況は皆無だった。今年度からは、はしま市民教授に代わる継続事業として

地域の方々に自分の学んだ知識や技能を市民に教え、伝えていただく「はしまシティカレッジ」という活動を進めているところである。

(委員) 伝統文化の後継者の育成について、自分も携わっているから分かるが中々難しいところである。評価も例年Cであり、今後の重要課題と言いつけてきている。

今後も生涯学習課と協力しながら、後継者の育成ができるように検討していきたい。

(委員) 文化財の愛護意識の啓発について、イタセンパラの関係することで確認したい。今年の評価はBということだが、以前までAだったものが下がったのか、それともコロナの影響でBになったのか、教えていただきたい。

(事務局) 昨年度と一昨年度もB評価である。

(委員) Aになったことはないのか。確かに停滞している状態ではあるが、隣の一宮市では活動が継続されている。活動を一度切ってしまうと再開は難しくなるので、コロナ禍で大変だと思うが、羽島市も引き続き継続して欲しい。

*協議の結果、令和3年度羽島市教育委員会点検・評価報告書(令和2年度実績)(案)については、社会教育委員よりご指摘いただいた箇所を訂正することとする。

4 報告事項

事業進捗状況について

- ・生涯学習課(中央公民館含む)
- ・図書館
- ・スポーツ推進課

*資料に基づき事務局から事業進捗状況を報告

(委員) 質問を2点よろしいか。

1点目は、生涯学習課の放課後子ども教室について、今年度は全校区、市内9校で開催するよう準備を進めていたはずだが、今後の見通しについて確認したい。

2点目は、はしまシティカレッジについて、どのような講座が行われるのか教えていただきたい。

(事務局) 1点目について、5月にまん延防止等重点措置が出ていたため、例年6月開催のところを今年度は9月からの開催とする。回数も一昨年度は12回開催だったが、今年度は10回開催とするなど、回数を絞らせていただく。

また、先ほどおっしゃられたように今年度は桑原学園と中央小も加え、全ての校区で開催することとなっている。

運営委員会を8月31日に開催し、9月からの活動の準備をしていく。

2点目について、まず講師となっていただく方の養成を行うということで、7月6日に岐阜大学の地域協学センターシニア教授の益川先生に来ていただき、学習プログラムの設計と運営についての話に加え、チラシの作成といった技術的な話をしていただいた。

7名の方に受講していただいた中で、実際に申請書を出していただいたのが5名、さらに書類選考や面接を通して3名の方を今年度の認定講師として登録した。今後は広報はしまやホームページ等を通して講座のチラシをお知らせしていき、9月から受講生を募集した後、10月には1人につき2回ずつ講座を開催していただく。

内容については、一人は紙粘土による創作人形、もう一人は絵本の読み聞かせ、3人目はペーパーアートの講座を開催する。また3名の中で過去に講師経験がある方は1名で、他の2名は初めて講座を開くとのことである。

(委員) 市内の方々に講座を開いていただけるということであれば、先ほど話に上がった伝統文化の後継者育成にも貢献できると思われる。ぜひとも多くの方に講師の養成講座を受講していただきたい。

閉会のあいさつ